



おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん

港区立南山幼稚園 NENZAN Kindergarten



幼稚園の先生たちの夏

子どもたちは、7月末から8月末までは夏休みです。

その間、幼稚園の教員は保育以外の様々な仕事をこなすほか、教員としての専門性を高めるための研修・研鑽を積んでいます。

本園は、平成28・29年度 港区教育委員会パイロット園・校として、港区立南山小学校とともに「自ら考え かかわりを深め 豊かな学びを創り出す子ども育成—育ちと学びをつなぐ幼小連携カリキュラムの工夫—」を研究主題として、幼稚園・小学校が合同で研究に取り組んでいます。

幼児期の教育では、子どもたち自らが環境に働きかけて遊ぶ、いわゆる自発的な遊びをととても大切にしていますが、幼児にとっての「遊び」は、大人でいう「遊び」とは異なります。幼児は、遊びを通して、様々な人やものとかかわり、好奇心や探究心をもち、創造的な思考力や表現力を身に付けたり、言葉を獲得したりするなど、様々なことを学んでいます。この自発的な遊びや生活を送った結果として、子どもたちに育まれた心情や意欲、態度などを確実に小学校教育へつなぐことが重要であるとの考えから、幼小連携カリキュラムの工夫について研究を進めています。

1学期間、地域の方々に見守られ支えていただき、心より感謝申し上げます。この夏の研修や研究の成果を9月からの教育活動につなげていきたいと考えています。よろしくお願ひ申し上げます。



水族館遠足での体験を生かして、再現して遊べるよう、教師自らイルカショーのトレーナーになって子どもたちの表現を引き出します。



子どもたちの発達や興味・関心を捉えて教材を提示することが、「やってみよう」「もっとやりたい」という子どもたちの心を揺り動かします。



毎月の誕生会では、その後の遊びにつながるよう子どもたちが楽しめるよう内容を考え、計画しています。教師自身が楽しんで踊ることが、子どもたちの意欲につながります。